

日本共産党
流山北部後援会

ニュースあすなる

2025年9月
第319号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
(部内資料)

今こそ財界中心・対米従属からの転換を！

9月7日石破首相が辞意表明しました。裏金問題、物価高騰に対する無策などに対する国民の批判を受け、参議院選挙で自民党が大敗してから2カ月が経過しても、自民党の混迷は続いています。これからまた、延々と自民党の総裁選挙報道が流されるかと思うとうんざりしますが、今回の選挙で参議院も少数与党に追い込まれた自公政権は新たな政党と連立を模索するのでしょうか。野党の正体が明確になっていく様子を私たちはしっかり見ていく必要があります。ウクライナ戦争もガザの虐殺も当面止む気配はないし、トランプ関税の影響も心配、物価高騰の先行きも不透明等々という八方ふさがりの中で、排外主義を公然と唱え、戦前回帰を目指しているような勢力が伸びている。こうした中で、自公政権の財界中心・対米従属という「コソのゆがみ」を根本から転換させることがいよいよ重要になっていきます。「戦争反対・人権擁護」の正論を貫いてきた日本共産党に今までの以上のご支援をお願いいたします。江戸川台N

第52回 植田和子 議会報告会 11月2日(日)13:00~14:45 北部公民館 第2会議室

9月議会での質問と当局の対応をお話しします。紙面に載らない裏話なども。国政についてもご意見をお聞かせください。市政国政なんでも語り合いましょう。お問い合わせしておいでください。入場は無料です。

暮らしよくする市政へ

9月議会の4人の市議員の「主な質問内容」
植田和子議員
①生活保護基準引き下げは「違法」として最大限の努力を
②路上喫煙防止と
③学校部活動の熱中症対策と就学援助の充実について
④公共施設の維持管理について。学校や市営住宅の長寿命化計画について
⑤公共施設の維持管理について。学校や市営住宅の長寿命化計画について
⑥犬のふん放置対策について
⑦多様性を尊重する社会の推進について
⑧国に対し核抑止論から

再稼働やめ 原発から撤退を!!

11日の市議会一般質問は植田議員は生活保護行政、路上喫煙問題、犬のふん処理問題、学校の部活動における熱中症対策などの質問でした。路上喫煙、犬のふん処理など個人のモラルの問題が

議会傍聴記

8月27日 25日、9月議会の議案説明会と全員協議会がありました。幼児教育支援センター、附属幼稚園の今後について、今の教育長も「附属幼稚園の廃園方針は堅持していく」がすぐに廃園ということではなく、引き続き、来年度(令和8年度)の年少組さんの募集も9月から開始する、広報にも募集のお知らせを載せる、との報告でした。また、今まで「お金がかかるといふ理

由で廃園方針を掲げたことへの謝罪がありました。教育にはお金がかかるもの、と。議会への陳情や、粘り強く署名活動をされてきた市民のみなさん、また、市長へ直談判された市民のみなさんの熱い運動で、ここまで廃園をストップさせることができました。今度は、

あります生活保護、学校の熱中症対策など行政がしっかりとしなければならぬ問題も沢山あり

9月11日 私的一般質問が終わり、傍聴に来てくださったみなさん、ありがとうございます。①「生活保護基準引き下げは「違法」とする最高裁の画期的判決について、市長は「憲法25条の趣旨からの裁量権逸脱だった」と判決を肯定する答弁。「大事なことですから」と。生健会の人達も傍聴に来てたので良かったと思います。②路上喫煙防止について環境部長の答弁も、商店街の受動喫煙を指導してくれました。③部活動の熱中症対策と就学援助の充実についての学校教育部長の答弁も、熱中症警戒アラートが出た日の部活動の延期や中止の検討をしていく、と、ほぼ満点。就学援助についても、答弁の感じから、対象項目を増やすか、基準1・2倍から拡大するかもしれない雰囲気があります。詳細は議会報告会で。

8月27日 25日、9月議会の議案説明会と全員協議会がありました。幼児教育支援センター、附属幼稚園の今後について、今の教育長も「附属幼稚園の廃園方針は堅持していく」がすぐに廃園ということではなく、引き続き、来年度(令和8年度)の年少組さんの募集も9月から開始する、広報にも募集のお知らせを載せる、との報告でした。また、今まで「お金がかかるといふ理由で廃園方針を掲げたことへの謝罪がありました。教育にはお金がかかるもの、と。議会への陳情や、粘り強く署名活動をされてきた市民のみなさん、また、市長へ直談判された市民のみなさんの熱い運動で、ここまで廃園をストップさせることができました。今度は、

あります生活保護、学校の熱中症対策など行政がしっかりとしなければならぬ問題も沢山あり



こんにちは 植田和子です

〓〓〓〓〓〓

9月11日 私的一般質問が終わり、傍聴に来てくださったみなさん、ありがとうございます。①「生活保護基準引き下げは「違法」とする最高裁の画期的判決について、市長は「憲法25条の趣旨からの裁量権逸脱だった」と判決を肯定する答弁。「大事なことですから」と。生健会の人達も傍聴に来てたので良かったと思います。②路上喫煙防止について環境部長の答弁も、商店街の受動喫煙を指導してくれました。③部活動の熱中症対策と就学援助の充実についての学校教育部長の答弁も、熱中症警戒アラートが出た日の部活動の延期や中止の検討をしていく、と、ほぼ満点。就学援助についても、答弁の感じから、対象項目を増やすか、基準1・2倍から拡大するかもしれない雰囲気があります。詳細は議会報告会で。

あります生活保護、学校の熱中症対策など行政がしっかりとしなければならぬ問題も沢山あり

9月11日 私的一般質問が終わり、傍聴に来てくださったみなさん、ありがとうございます。①「生活保護基準引き下げは「違法」とする最高裁の画期的判決について、市長は「憲法25条の趣旨からの裁量権逸脱だった」と判決を肯定する答弁。「大事なことですから」と。生健会の人達も傍聴に来てたので良かったと思います。②路上喫煙防止について環境部長の答弁も、商店街の受動喫煙を指導してくれました。③部活動の熱中症対策と就学援助の充実についての学校教育部長の答弁も、熱中症警戒アラートが出た日の部活動の延期や中止の検討をしていく、と、ほぼ満点。就学援助についても、答弁の感じから、対象項目を増やすか、基準1・2倍から拡大するかもしれない雰囲気があります。詳細は議会報告会で。

あります生活保護、学校の熱中症対策など行政がしっかりとしなければならぬ問題も沢山あり

9月11日 私的一般質問が終わり、傍聴に来てくださったみなさん、ありがとうございます。①「生活保護基準引き下げは「違法」とする最高裁の画期的判決について、市長は「憲法25条の趣旨からの裁量権逸脱だった」と判決を肯定する答弁。「大事なことですから」と。生健会の人達も傍聴に来てたので良かったと思います。②路上喫煙防止について環境部長の答弁も、商店街の受動喫煙を指導してくれました。③部活動の熱中症対策と就学援助の充実についての学校教育部長の答弁も、熱中症警戒アラートが出た日の部活動の延期や中止の検討をしていく、と、ほぼ満点。就学援助についても、答弁の感じから、対象項目を増やすか、基準1・2倍から拡大するかもしれない雰囲気があります。詳細は議会報告会で。

あります生活保護、学校の熱中症対策など行政がしっかりとしなければならぬ問題も沢山あり

9月11日 私的一般質問が終わり、傍聴に来てくださったみなさん、ありがとうございます。①「生活保護基準引き下げは「違法」とする最高裁の画期的判決について、市長は「憲法25条の趣旨からの裁量権逸脱だった」と判決を肯定する答弁。「大事なことですから」と。生健会の人達も傍聴に来てたので良かったと思います。②路上喫煙防止について環境部長の答弁も、商店街の受動喫煙を指導してくれました。③部活動の熱中症対策と就学援助の充実についての学校教育部長の答弁も、熱中症警戒アラートが出た日の部活動の延期や中止の検討をしていく、と、ほぼ満点。就学援助についても、答弁の感じから、対象項目を増やすか、基準1・2倍から拡大するかもしれない雰囲気があります。詳細は議会報告会で。

あります生活保護、学校の熱中症対策など行政がしっかりとしなければならぬ問題も沢山あり

9月11日 私的一般質問が終わり、傍聴に来てくださったみなさん、ありがとうございます。①「生活保護基準引き下げは「違法」とする最高裁の画期的判決について、市長は「憲法25条の趣旨からの裁量権逸脱だった」と判決を肯定する答弁。「大事なことですから」と。生健会の人達も傍聴に来てたので良かったと思います。②路上喫煙防止について環境部長の答弁も、商店街の受動喫煙を指導してくれました。③部活動の熱中症対策と就学援助の充実についての学校教育部長の答弁も、熱中症警戒アラートが出た日の部活動の延期や中止の検討をしていく、と、ほぼ満点。就学援助についても、答弁の感じから、対象項目を増やすか、基準1・2倍から拡大するかもしれない雰囲気があります。詳細は議会報告会で。

あります生活保護、学校の熱中症対策など行政がしっかりとしなければならぬ問題も沢山あり

9月11日 私的一般質問が終わり、傍聴に来てくださったみなさん、ありがとうございます。①「生活保護基準引き下げは「違法」とする最高裁の画期的判決について、市長は「憲法25条の趣旨からの裁量権逸脱だった」と判決を肯定する答弁。「大事なことですから」と。生健会の人達も傍聴に来てたので良かったと思います。②路上喫煙防止について環境部長の答弁も、商店街の受動喫煙を指導してくれました。③部活動の熱中症対策と就学援助の充実についての学校教育部長の答弁も、熱中症警戒アラートが出た日の部活動の延期や中止の検討をしていく、と、ほぼ満点。就学援助についても、答弁の感じから、対象項目を増やすか、基準1・2倍から拡大するかもしれない雰囲気があります。詳細は議会報告会で。

あります生活保護、学校の熱中症対策など行政がしっかりとしなければならぬ問題も沢山あり

第3回 平和のための戦争展・流山 武力で平和はつくれるの？ ～戦争だけは絶対にはじめてはいけない～

「日本は死の商人になるのか」 政治の闇の武器ビジネス

第3回「平和のための戦争展・流山」が9月6日・7日の両日、流山市生涯学習センターで開催されました。

6日は最

講演では5月に幕張メッ

初に兵器産業が政治権力と結びついて莫大な利益をあげる内容を証言で明らかにする映画「シヤドー・ディール・武器ビジネスの闇」(2016年海外作品)の上映と講演(杉原浩司さん、武器取引反対ネットワーク代表)がありました。

戦争が激しくなり、東京の従姉が近所に疎開して来ましたが、従姉が「おばちゃん今日はいそいそ！うどん！」と言って食事を楽しみにしていました。前の家に疎開したおばさんが畑に落ちている豆を拾っているのを見て、食べ物は大切にしなければ子供心に感じ、今でもご飯粒一つふたりとも残さず食べるようにしています。大変な食糧難の時代でした。

平和への願い戦後80年に思いを寄せて②

菊池 伍郎

たのを感じています。

戦争は多くの悲劇を生み出します。今もロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ地区での虐殺と戦争に関係のないお年寄り女性子供が犠牲になっ

たのを感じています。戦争は多くの悲劇を生み出します。今もロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ地区での虐殺と戦争に関係のないお年寄り女性子供が犠牲になっ

を撮影し、のちに恐怖の事実を世に伝える「ジョー・オダネル氏の手記をもとにしています。」「焼き場に立つ少年」の写真有名です。



最後は「戦争体験を語る会」で二人の話がありました。広島で被爆した父の手記をもとに中学生たちに映像を使い語り続けている元中学校の教員の話と、旧満州での加害者による父の精神状態に寄り添う話でした。

平和を守るため、私たちにできること

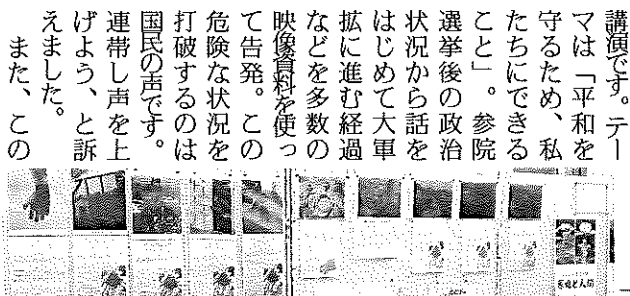
7日は東京新聞記者で鋭い追及で有名な望月衣聖子さん(右下写真)の

終戦で兄貴は運よく復員して来ましたが、マラリヤと栄養失調で治療の甲斐もなく、まもなく亡くなりました。母は戦争を恨まず医者を選んでい

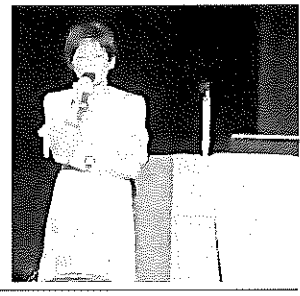
ています。日本の政府もアメリカ軍と一緒に、台湾有事だ「抑止力」だと言って、国民に知らせないまま「戦争国家」へと突き進もうとしています。

参議院選挙でも戦争を美化するような政党が国会に進出し「憲法9条」がないがしろにされようとしています。戦後80年、平和を守り二度と悲惨な「戦争」を起こさないため、声をあげましょう!!

第15回 流山市高齢者の集い
10月12日(日)
開場13:00 開演13:30
初石公民館大ホール
第1部 「くらしと憲法」
四谷姉妹の憲法漫才&トーク
第2部
東葛健康友の会コーラスフレンズ
のこぎり演奏/のこ木本 入場無料
お誘い合わせておいでください



広島の高校生が被爆者から話を聞いて描いた「原爆の絵」等の展示



二日間に高校生が被爆者に聞いて描いた原爆の絵のほか、戦時中の資料などの展示もあり、終戦・被爆80年の節目の年にふさわしい内容となりました。 江戸川台 H

戦争展に参加して

★9月6日平和のための戦争展で武器ビジネスのドキュメンタリー「シヤドー・ディール」の上映と杉原浩司氏の「日本は死の商人になるのか」と題する講演があった。映画は映像と字幕を追うのが精一杯だったが、死の商人と政治家の底知れぬ癒着は理解できた。翻って日本はどうか。2015年5月、第二次安倍政権下、国内で始めての「武器展示会」が外務省など三省後援で開催され13社が参加した。それから10年の今年「幕張メッセ」で開催された展示会には「堂々とイスラエルが出店」。千葉と日本

政府は虐殺に加担していると杉原氏。そして、中谷氏の言う「特別な戦略的パートナー」の豪州への護衛艦輸出。敗戦後80年、

憲法9条も武器三原則も無きものに見做し、防衛予算額は歯止めなし。この日本の現実には愕然とする。 富士見台 Oさん

★杉原浩司さんの講演と「シヤドー・ディール」

映画を見て、武器ビジネスの実態が生々しくわかり、政界と財界の深い闇が戦争を継続させている。関係を断ち切らないと益々激化していく事実が驚愕する。

中でもイスラエルが武器製造に力を入れていて、それに日本が大きく加担している事実を知り、かつてベトナム戦争時に沖縄から米軍機が出撃し、加担していたことになった以上に強い怒りが沸いてはならない。

「赤旗日曜版」がスマホで見られる電子版に

10月2日から日曜版をスマホで見られる電子版が始まります。通勤時やちょっとした時間に記事を読んだり、SNSで発信・拡散することもできます。お気軽にお申し込みを!!

日本共産党発行
しんぶん 赤旗
日刊 3497円
日曜版 990円
スクープで話題の赤旗をあなたも読んでみませんか？知りたい情報満載です

10月4日(土)
午前10時～11時30分
北部公民館でタウンミーティングが行われます

更に本県で行われている「武器見本市」の実態を映像と参加企業の多さを知り、ソツとした。なぜ次々と武器を開発し、性能を高める事業をこうも展開するのか。

人を殺し、生活を破壊するものに未来はない。こんなことに知力財力を使わず、地球温暖化対策や教育・福祉の向上に注いでほしい。

「武器見本市」は人類の平和を脅かすものとして開催をストップさせたい。軍需産業を栄えさせてはならない。

こうのす台 Nさん

あすなろ川柳

●不発弾

あれこれ残して 石破去り

どこまで本気がわからないまま 金権体質を解決せず

●大都市で

雨は下からも 吹きあがり

豪雨はマンホールから逆流

●セミ トンボ

見ぬうち 秋の 虫すだく

セミの声もめったに聞かずいつの間にか夜道の道端に虫の声